

国内初の企業単独型

外国人技能実習生受け入れ 12月にミャンマーから3人

□札幌・さくらコミュニティサービス□

介護サービス事業や人材派遣・教育研修を手がける、さくらコミュニティサービス(本社・札幌市北区)は、これまで関係を築いてきたミャンマーから技能実習生3人を12月に受け入れ開始する。監理団体や送り出し機関を通さない企業単独型は国内でも初めて。年明けには現地に職業訓練校を開校し、2019年度以降は同国から道内に年間50人ペースでの受け入れを想定している。

17年11月に在留資格「介護」が追加され、外れ傘下の企業等で技能実習生の指導・支援が可能なようになった技能実習生を受け入れ、海外とのパイプや実習制度は、事業協同の現地法人、合弁企業で、調整等に相応の時間を要する。15年7月にミャンマーで職業訓練校を開校、現地法人「KAIGO Service」を設立したのをはじめ、16年にはヤンゴン市内で技能実習生募集を開始した。

年明け、現地に職業訓

受け入れ技能実習生を間も費用も必要だ。さくらコミュニティサービスが12月にミャンマーから受け入れるのは国内初の企業単独型。実習計画申請・認定、地方入国管理局への許可申請など、スムーズな受け入れが可能という。

ようやく国内で実習生受け入れが始まり、道内でも動きが見られるようになったのは団体監理型。受け入れを希望する企業等は国内監理団体と海外送り出し機関が間に



来日する技能実習生は、いずれも医療・福祉系資格を持たない20代女性

17年にかけては日本語学校を開校、現地での内諾を得るなど先手を打ち続け、ようやく実習生はいずれも現地日本語学校を修了した20代女性。同社が札幌市内で運営する認知症グループホームから発寒(西区)、さくら

※次頁に続く



2017年に開校しを想定する。
た現地の日本語学校で 中元秀昭代表取締役
学ぶ人たち は「まずは私たちが受
け入れ、実績をつくる
.....

決まった介護職業訓練 ことが大切。ミャンマ
校は、ヤンゴン市内の ー政府との懸け橋とな
国立病院内を改修し年 って、しっかりとべー
明け19年1月に開校す スをつくらなければな
る。6カ月で1000人 らない」と話す。

が座学と実技を学び、 ミャンマーと介護職
うち半数の50人が技能 種の公的資格制度構築
実習生として今後継続 に向けた協議も本格化
して来日する見通し。 しており、同社は日本

練校開校

道内に年間 50人を想定

の介護資格制
度を参考に、
ピラミット型

東苗穂(東区)、小規模 現地法人に共同出資す のステップアップの仕
多機能ホームスマイリ る岐阜県内の法人とシ 組みとともに、最上位
ンク平岡(清田区)で実 エアするため道内で実 資格に進む要件として
習を開始する。 習する人材は6カ月で 日本での3年間の技能

ミャンマーは伝統的 25人、1年で50人程度 実習を盛り込んだ枠組
に親日国として知ら のペースを見込む。 みを提案。「人材を両国

れ、仏教徒が多く国民 同社が受け入れ可能 で循環させる、国をま
性が似ていることも、 な実習生は数人程度 のたいだジョブローテ
日本人と一緒に仕事を ため、残る実習生は近 ション」を構築し、継続
する上で大きなプラス く同社が立ち上げる監 性のある人の流れを生
材料と考えている。 理団体を通して加盟企 み出そうとしており、

政府との共同運営が 業等で受け入れる流れ 今後の動向が注目だ。